

輸送機器内装材工場におけるファブリック洗浄工程への循環加温ヒートポンプ導入による省エネ

この工場では、輸送機器内装材を生産しています。従来、そのファブリック洗浄工程においては、染色工程で発生する温排水を再利用し、洗浄水加温に伴う蒸気の使用量を削減していました。

そして今回、この工程に新たに“循環加温ヒートポンプ”を導入し、既存の蒸気ボイラーとのハイブリットシステムとしたことにより、更なる省エネを実現しました。（同時に温水槽の保温処理も実施）

■改善効果

- 従来のシステムと比べて
 - ・年間一次エネルギー使用量：11%低減
 - ・年間エネルギー費用：28%低減
 - ・年間CO₂排出量：11%低減*

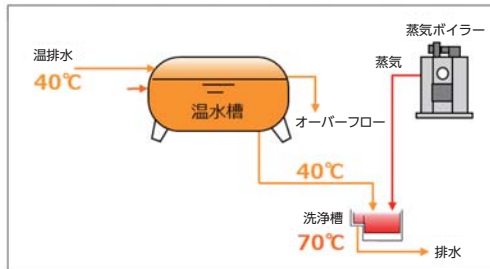
■設備概要

- 循環加温ヒートポンプ×1台（新設）
 - ・加熱能力：70kW
 - ・定格COP：3.6

※ 電力のCO₂排出係数：0.516kg-CO₂/kWh
都市ガスのCO₂排出係数：2.23kg-CO₂/Nm³

システム図

改善前



改善後

